

大分県 商工観光労働部 DX推進課 御中

ONE OITA

経営指標見える化伴走支援プログラム

プログラム実施報告

(抜粋)

2025年2月

イジゲングループ株式会社
ビジョン推進室

ONE OITA



成果発表会のサマリ

2025年1月22日(水) 14:00-16:15
コンパルホール 多目的ホール

65 名の参加者
(登壇者・アドバイザー・ゲスト含む)

アドバイザー5名に各分野の専門家としてのご講評をいただきました。

デジタルバンク株式会社 代表取締役社長	板井 悟史 氏
株式会社Uncover Truth 取締役COO	小畑 陽一 氏
一般社団法人DST 事務局長	高嶋 和代 氏
ハイパーネットワーク社会研究所 主幹研究員	平野 敬洋 氏
イジゲングループ株式会社 執行役員 テックリード	宮崎 ひび 氏

▼ 会場配布のイベント案内リーフレット (A4サイズ両面カラー)

“数字で語れる人を増やす”

ONE OITA

経営指標見える化 伴走支援プログラム2024 成果発表会

主催：大分県 日本一の観光県を創ろう！

● 日時：2025年1月22日(水)
14:00 開場 / 14:30 スタート

● 場所：コンパルホール 3F 多目的ホール
参加無料

● 14:30 - 14:40 開会挨拶・主催挨拶
成案理事の発表および観覧 (B 社)
14:40 - 16:15 閉会挨拶
16:15 - 16:30 休憩・会場準備・閉場
16:30 - 18:00 Connect for oita ventures 観覧
交流会

● 当日プログラムの目的

県内企業のうち DX に取り組んでいるのは約 60%、しかしその多くは IT ツールの導入にとどまりデータの活用が限られています。まずはデータを分析できるようになることが事業効率を向上させる第一歩となります。当プログラムでは、伴走支援パートナーが経営指標の見える化に貢献したい県内加齢層を支援する活動に取り組んでいます。定量的な指標(データ)をもとに、本質的な事業支援ができる人材、素早い経営判断ができる企業を増やすことを目的としています。

● これまでの取り組み

当プログラムに参加する伴走支援パートナーと支援先事業者は、データを正しく分析して経営判断に活かすためのステップとして以下のロードマップに今日まで取り組んできました。

ケーススタディ：ファナック機械 KGI 統計と KPI 指標 KPI の設計 指標 (KGI/KPI) の見える化 ダッシュボードの活用と共有

伴走支援パートナーのための留学・研修

2024.07.16 第1回プログラム 市大分県庁第2階 08.23 第2回プログラム 市大分県庁第2階 09.25 第3回プログラム 市大分県庁第2階 10.25 第4回プログラム 市大分県庁第2階 11.25 第5回プログラム 市大分県庁第2階

DX 支援スキルサバイバルと個別レポートによる、伴走支援パートナーのスキル可視化・スキル強化支援

事業主とのOJT (現場の見える化に向けた取り組み)

ビジネス課題
・目標設定
・数値データを取得するための仕組みづくり

ダッシュボードによるデータ可視化支援

当プログラムについて詳しくは公式 Web サイトをご覧ください。 <https://one-oita.jp>

ONE OITA

経営指標見える化の成果発表

当プログラムに参加された伴走支援パートナーのうち 6 社の事例を発表。パートナーと支援先事業者の紹介、取り組み内容、得られた成果など発表し、質疑応答、アドバイザーによる講評を行います。(各社 15 分)

営業戦略の見える化
— ターゲット選定に蓄積データを活用 —

伴走支援パートナー：大分銀行 佐藤 真子 さん
支援先事業者：西ノ瀬環境株式会社 大分市 ウォークリーバー 齋藤 俊彦 氏、経営相談室

経営指標の効率的な見える化
— 紙からの脱却による拠点間の連携強化 —

伴走支援パートナー：株式会社古城 佐藤 真子 さん
支援先事業者：日本電気保安株式会社 佐藤 真子 さん、電気保安協会、古城 真子 氏、保守工務工事

売上データの見える化
— 製造効率の最適化に向けて —

伴走支援パートナー：大分信用金庫 小畑 陽一 さん
支援先事業者：株式会社 Tridiente 大分市 金子 誠二 氏

現在地の見える化
— 見えない不安をデータで解消 —

伴走支援パートナー：豊後高田商工会議所 山形 恭彦 さん
支援先事業者：non design office 豊後高田市 設計・建築、建築、土木、土木、土木、土木、土木、土木

経営状態の見える化
— 従業員の利益意識向上を目指して —

伴走支援パートナー：豊和銀行 伊藤 隆敏 さん
支援先事業者：Life is good 株式会社 大分市 伊藤 隆敏 氏

経営判断に必要なデータの見える化
— 事業承継のその先へ —

伴走支援パートナー：津久見商工会議所 高木 真希 さん
支援先事業者：株式会社滋市場 津久見市 高木 真希 氏

アドバイザー

伴走支援パートナーの事例発表の内容について、以下の各分野の専門家がそれぞれの視点で講評を行います。(各名前 5 分)

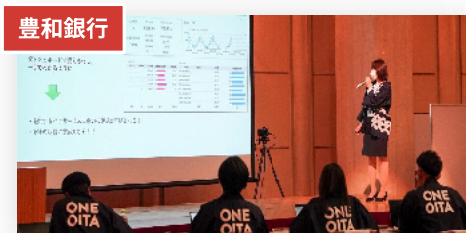
板井 悟史 氏 小畑 陽一 氏 高嶋 和代 氏 平野 敬洋 氏 宮崎 ひび 氏
デジタルバンク株式会社 株式会社 Uncover Truth Oita City Social Transformation 株式会社ハイパーネットワーク社会研究所 イジゲングループ株式会社
代表取締役社長 取締役 COO 事務局 主幹研究員 執行役員 テックリード

運営・発行：ONE OITA 運営事務局 | 本事務局は、大分県からイジゲングループ株式会社が受託し運営しています。

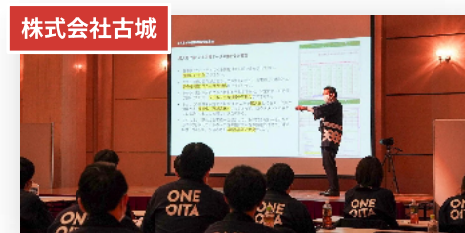
6社の伴走支援成果の発表

各社10分間の発表に加えて3分間のアドバイザー講評を実施

▼各社が10枚前後の発表スライドを用意



Life is good株式会社（介護施設運営／大分市佐賀関）



日本電気保安株式会社（電気保安管理・設備工事／佐伯市）



株式会社Tridente（タルト製造・販売／大分市光吉）



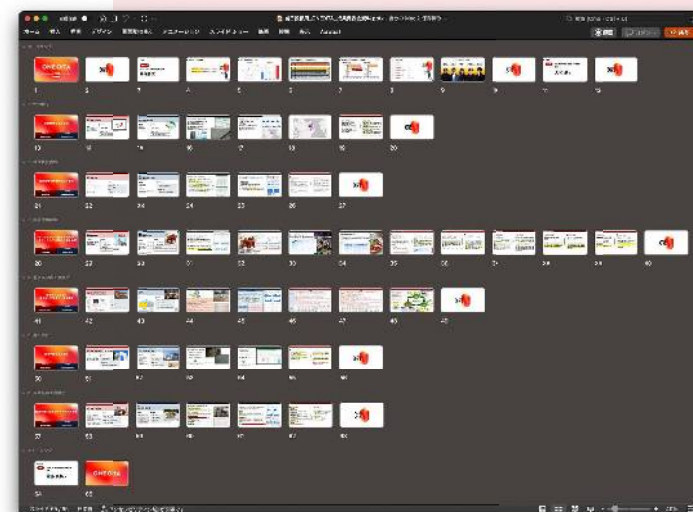
西ノ洲環境株式会社（産業廃棄物処理／大分市高城）



株式会社浜市場（海産物製造・販売／津久見市）



non design office（カフェ/宿泊施設運営／豊後高田市）



▲発表スライドの制作を事務局が支援

記録映像



ONE OITA 経営指標見える化伴走支援プログラム 成果発表会 ダイジェスト映像（33秒）

公式YouTube 限定公開リンク
<https://youtu.be/LwCdOxRmypg>



ONE OITA 経営指標見える化伴走支援プログラム 成果発表会 フル収録映像（1時間48分32秒）

公式YouTube 限定公開リンク
https://youtu.be/4piM_I7zA48

イベントレポート

神は細部に宿る。細部にこだわってこそ、作品の本質が決まる。
ドイツの建築家ルートヴィヒ・ミース・ファン・デル・ローエの言葉です。

小さな部品や意匠にさえも妥協を許さず、こだわりを貫くことで、
最終的に素晴らしいものが出来上がる。建築に限らず、素晴らしいとされてい
るものは、すべからく“そう”だと言えるでしょう。

データはまさに細部（ディティール）。
見える化の神も細部に宿っているのだと、本事業を通じて感じさせられた。
であるのであれば、見える化を為すべく、“見せる化”にも高い意識で取り組ん
でいただきたい。大団円を迎えたONE OITAに、そう思うのでした。

取材・原稿：イジゲングループ株式会社、株式会社Uca

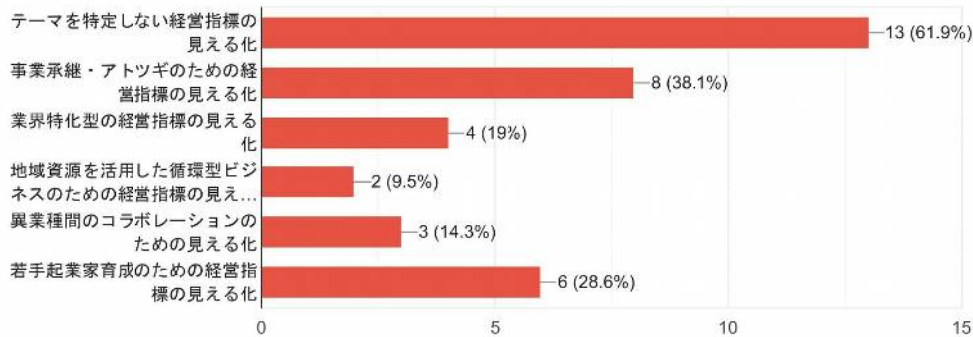
各社の発表内容を含む約6,800字のイベントレポートを公式Webサイトで公開中
<https://one-oita.jp/report/250122>



参加者アンケート

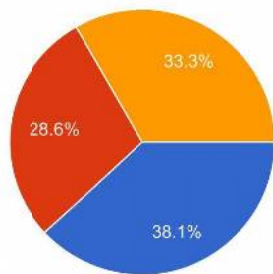
来年度以降のテーマとして取り上げて欲しいものを教えてください。（複数回答可）

21件の回答



来年度のプログラムは参加したいですか。

21件の回答



- 参加したい
- 参加するつもりはない
- 参加について相談したい

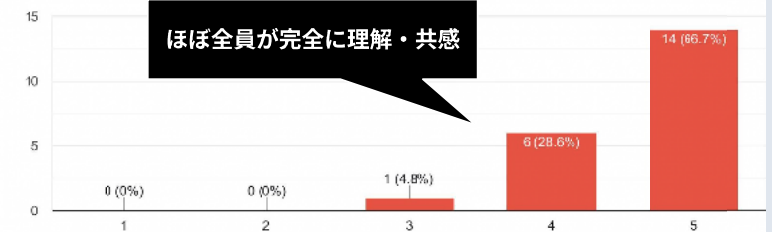
成果発表会にはどのくらい満足されましたか。

21件の回答



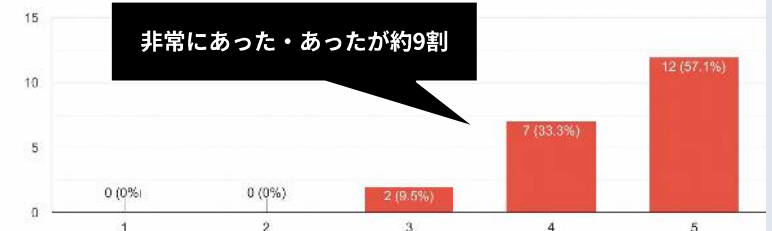
本プログラムの目的と狙いは理解いただきましたか。

21件の回答



ご自分の仕事に役立つ部分はありましたか。

21件の回答



参加者アンケート（一部抜粋）

支援企業様に対して、運営側として毎月のメンタリングに同行する仕組みを取り入れるべきと考えます。
今回、5回目の研修終了から成果報告会までの1ヵ月程度の期間のみでの同行訪問となり、成果報告会に向けてお力添えはいただきましたが、
より支援を深めるには毎月の同行訪問を実施することが望ましいと思います。

自分自身にとっても、支援先にとっても非常に良い機会となりました。
ここからどうやって分かった課題に対して対応していくかの方が重要だと思ってますので、また個別に専門家派遣でのご相談や、
それこそ支援先からの直接のシステム運用に関する契約など、色んな事を想定しながら引き続きご支援賜りますよう、よろしくお願い致します。

次年度のプログラムについては毎回出るのはどうかと思いますが、
所内の他の人材、もしくは**イベントの際の参加者として関わっていきたい**と思います。

経営指標も様々ですので、**伴走支援パートナーも様々な業態から出てくる**ようになるとよいと思いました。

DX支援と言えば、システムを入れれば解決という理解をしていたが、そうではなくてそこから
データを活用することで会社の現状の理解、経営戦略の立案に繋がることが分かった。データの見える化の重要性。

データ収集やデータ分析、その後のデータ活用について苦手意識が強かったのですが、
企業の数字を見てみたいという気持ちになるまで前進することができました。

様々な業種業態で経営指標の見える化の違いを見ることができた事

発表者ごとにアプローチが違ったので、特に**データドリブン経営の視点で取り組まれていた事例は参考**になりました。

企業それぞれの**規模や業種によつてのデジタル活用**の取り組みが参考になりました。

Looker Studioは、オンラインツールということなので**金融機関の営業店では、ネット環境が整備されていない**ことも多く、対応が難しいと思いました。

研修プログラム

2025年

7月	8月	9月	10月	11月	～	1月
 07/16 第1回プログラム (大分市能楽堂) 第1フェーズ 「ケーススタディ」 - プログラムで目指ゴールを理解する - データ経営のモデルケースを体験する	 08/23 第2回プログラム (ホルトホール大分) 第2フェーズ 「ファネル理解」 ファネル分析を活用し顧客ビジネスを消費行動モデル (AIDMA) に当てはめることができるようになる  01:25:28 研修記録映像（限定公開） https://youtu.be/IE1Tc7JuhWs	 09/25 第3回プログラム (大分銀行宗麟館) 第3フェーズ 「KGI設計とKPI理論」 - AIDMAをもとに顧客のKGIを設計できるようになる - KPIについての考え方を習得する  01:22:15 研修記録映像（限定公開） https://youtu.be/R9ENh0RWGN8	 10/25 第4回プログラム (ホルトホール大分) 第4フェーズ 「KPIの設計」 KGIの達成に向けた要素分解と目標数値が設計できるようになる  00:59:49 研修記録映像（限定公開） https://youtu.be/FFjDbEpkvQ8	 11/28 第5回プログラム (大分銀行宗麟館) 第5フェーズ 「指標（KGI/KPI）の見える化」 - KPIとして定めた数値をBIツールに落とし込む方法を理解する - 顧客と共にダッシュボードを作成できる状態になる  01:11:26 研修記録映像（限定公開） https://youtu.be/DdLjIE9ufGw	～	 01/22 成果発表会 (コンパルホール) 最終フェーズ 「ダッシュボードの運用と共有」 - 作成したダッシュボードがどのようなファネル分析やKGI/KPI設計に基づいたものかを発表 （可能であれば）KPI達成に向けて計画した今後のアクションプランも発表 + デジタルマーケティング 関連の基調講演

プログラム参加者

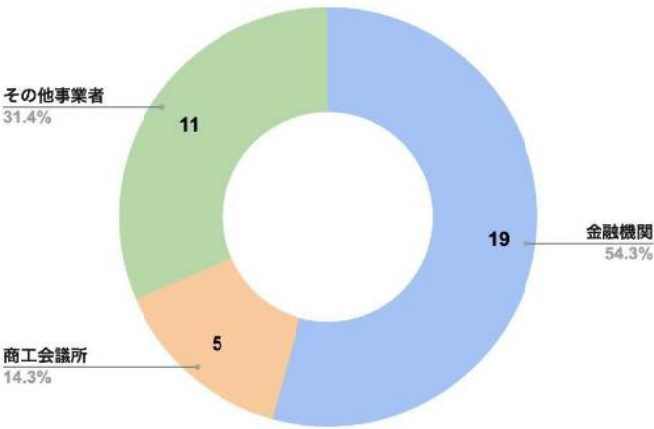
敬称略

伴走支援パートナー（14社・組織／37名）

豊和銀行 大在支店	工藤 裕貴
豊和銀行	那珂 圭亮
豊和銀行	伊東 理絵
豊和銀行	神野 康弘
豊後高田商工会議所	山形 恭遵
津久見商工会議所	高木 貴浩
津久見商工会議所	石井 宏佑
津久見商工会議所	橋本 成実
大分信用金庫	小野 秀樹
大分信用金庫	梶原 拓人
大分信用金庫	中山 健
大分信用金庫	大塚 和喜
大分信用金庫	後藤 達也

大分商工会議所	麻生 正俊
大分銀行	佐藤 瑛子
大分銀行	目原 瞬
大分銀行	辻井 祐介
大分ベンチャーキャピタル(株)	永樂 陵
大分ベンチャーキャピタル(株)	三浦 哲郎
大分ベンチャーキャピタル(株)	赤尾 聡一郎
西日本シティ銀行 別府支店	柿本 拓也
西日本シティ銀行 大分支店	山城 侑也
西日本シティ銀行 宇佐支店	中山 広都
西日本シティ銀行	白橋 大輔
大分スタートアップセンター	渕野 麻美子
大分スタートアップセンター	川野 幹雄

株式会社古城	團塚 幹夫
株式会社古城	沓冠 春妃
株式会社古城	工藤 わなか
株式会社古城	工藤 敦史
株式会社ワクフリ	高島 卓也
株式会社ワクフリ	下坂 恵夢
株式会社ワクフリ	早川 裕理
株式会社オーイーシー	宮谷 凌平
株式会社オーイーシー	坂本 将幸
株式会社ASO	齋藤 直毅
株式会社ARU	薄田 夕侑



支援先事業者（10社）

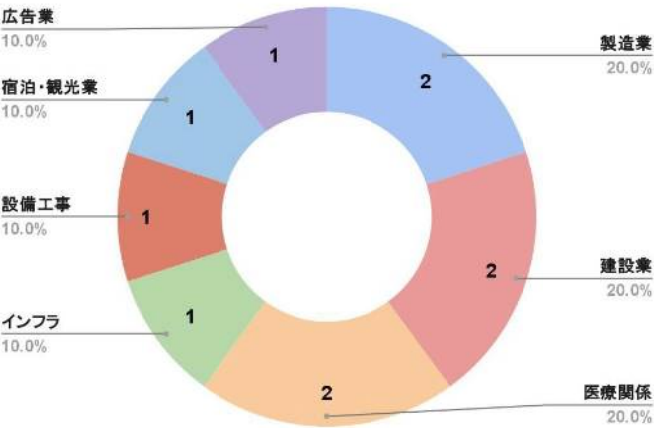
Life is good株式会社
株式会社Tridente
株式会社浜市場
日本電気保安株式会社
西ノ洲環境株式会社

株式会社ARU
有限会社ディスプレイ大分
池見林産工業株式会社
non design office
医療法人慈愛会 向井病院

パートナー（3社／7名）

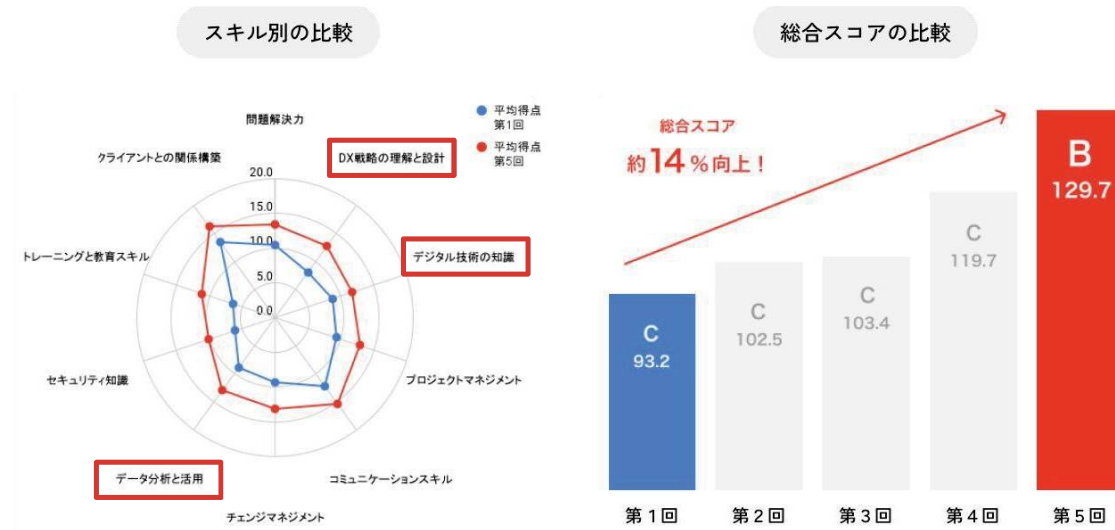
株式会社UNCOVER TRUTH	三原 恵理夏
株式会社UNCOVER TRUTH	小畑 陽一
株式会社UNCOVER TRUTH	松原 健太
株式会社UNCOVER TRUTH	井上 清隆

株式会社UCA	嶋山 哲史
株式会社UCA	黒木 ゆか
大分バス株式会社	三澤 啓二



DX支援スキルレポート

伴走支援パートナーのDX支援スキル向上を見える化するために、
全5回の研修プログラムごとにサーベイを実施。



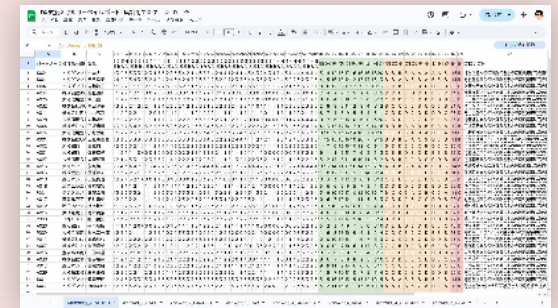
全体を通して総合スコア14%の向上を実現。
研修カリキュラムで扱った3つの領域「DX戦略の理解と設計」「デジタル技術の知識」「データ分析と活用」については狙い通りのスキルアップが見られた。

付随して他の領域でもスキル向上が見受けられたことは良い点ではあるものの、
今回の研修では特段触れていない内容であるため、アンケートの収集方法の検討と回答者の精度
を上げるための工夫が来年度以降は必要になる。

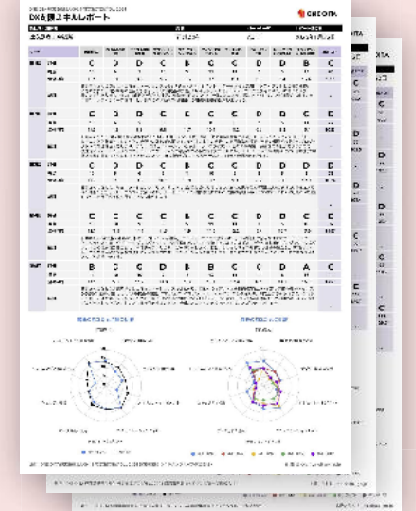
DX支援スキルの評価とレポートニングの仕組み

1 研修後に50問の
選択式サーベイに回答

2 回答結果を集計
自動でスコアリング



3 全体平均や前回との比較、
総評コメントも加えて
A4サイズのレポート形式で
各パートナーに配布



労働生産性への貢献効果の試算

キックオフイベントにて発表した県内のポテンシャル

残りの93% = 約49,000事業所 ※
(大分県内の事業所)

約**1,359**億円分の
ポテンシャル ※

当事業で生み出すことができたポテンシャル

約17,296事業所
(金融機関・商工会議所の支援先)

約**479**億円分の
ポテンシャル

※ 出典：大分県 令和3年経済センサスよりすべての事業所数から算出

※ 全労働者のうち93%がデータ活用の「段階3」に達した場合の労働生産性向上額の合計

今回参加した事業者：16社→見える化ができた事業者（段階3）：6社

支援パートナーのクライアントの数＝ポテンシャルの金融機関、加盟法人（商工会議所）/ 49,000社で生み出した向上額を記載

金融機関＝10,059社のクライアント、商工会議所＝7,237社のクライアント→総数：17,296社

目指すべき姿

我々が見える化するのは、 指標ではなく**可能性**。

ONE OITAは経営指標の見える化を通じて、企業の可能性を導き出します。
しかしデータが示すのは単なる数字ではなく、その先にある未来への道筋です。

私たちはパートナーとともに企業の成長を支え、実際の変革を生み出してきました。

大分には挑戦を支える力がある。

ともに歩むことで生まれる新たな可能性が、地域全体を押し上げると信じています。

49,000社の力を引き出し、未来への扉を開く。

この挑戦を、大分県と共に成し遂げたいです。

持続的な成長を生み出すエコシステムを育んでいきましょう。

